

釧路湿原国立公園におけるエゾシカによる被害状況と 達古武地区における試験捕獲について

【背景】

- ・ 釧路湿原国立公園及びその周辺地域でも近年エゾシカの増加により農林業被害、交通事故などが増加。
- ・ ライトセンサス調査等からも釧路湿原周辺に生息するエゾシカの増加が確認。
- ・ 一方で、増加したエゾシカによる釧路湿原及び周辺丘陵地等の自然環境への影響についてはほとんど調査されていない。
- ・ 釧路自然環境事務所では、平成 22 年度から影響把握のための各種調査を実施。
- ・ 平成 23 年度に「釧路湿原エゾシカ対策検討会議」を設置し、対策検討を実施。

【これまでに実施した調査】

- 細岡展望台からの湿原内個体数目視調査 (H19～)
- エゾシカ採食状況調査 (H23・24 冬期、H25 は夏秋冬)
- 湿原内シカ道調査 (2004、2010 撮影空中写真判読)
- 越冬期行動調査 (細岡・コッタロ展望台からの目視調査)
- 捕獲手法検討調査
(達古武、二本松、サルボ展望台、道道 1060 号沿線、宮島・キラコタン)

【今年度事業】

- エゾシカ採食状況調査
 - 夏・秋期 高層湿原を中心に湿原内における採食状況を調査
 - 冬期 湿原及び周辺丘陵地における採食状況を調査
- エゾシカ捕獲手法検討
 - 達古武自然林再生事業地での囲いわな等による捕獲手法検討と試験捕獲
 - 湿原内に生息するエゾシカの捕獲手法検討

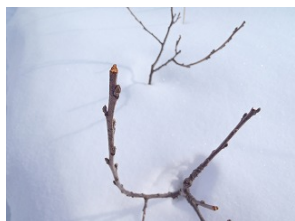
【その他】

- 釧路湿原生態系維持回復事業計画(仮称)の検討 (平成 26 年度策定予定)

●釧路湿原及び周辺丘陵地におけるエゾシカの採食状況

①高層湿原

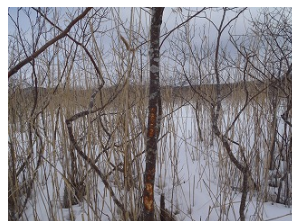
高層湿原周辺ではハンノキ以外の食痕は確認されなかった。



ハンノキ



ハンノキ



ハンノキ

②低層湿原

ハンノキの他、ヨシやイネ科草本の冬芽を採食していたが、食痕数は少ない。



ハンノキ



ヨシ



イネ科草本

③ハンノキ林

ハンノキの他、クロミノウグイスカグラ、ツルスゲ、キノコ類（サルノコシカケの仲間）の採食が確認された。



ハンノキ



クロミノウグイスカグラ



ツルスゲ

④丘陵地

丘陵地ではササの採食が見られた他、多様な樹種で食痕が確認された。特に、ハルニレやハシドイは全周樹皮剥ぎされたものがあった。



ハルニレ



ハシドイ

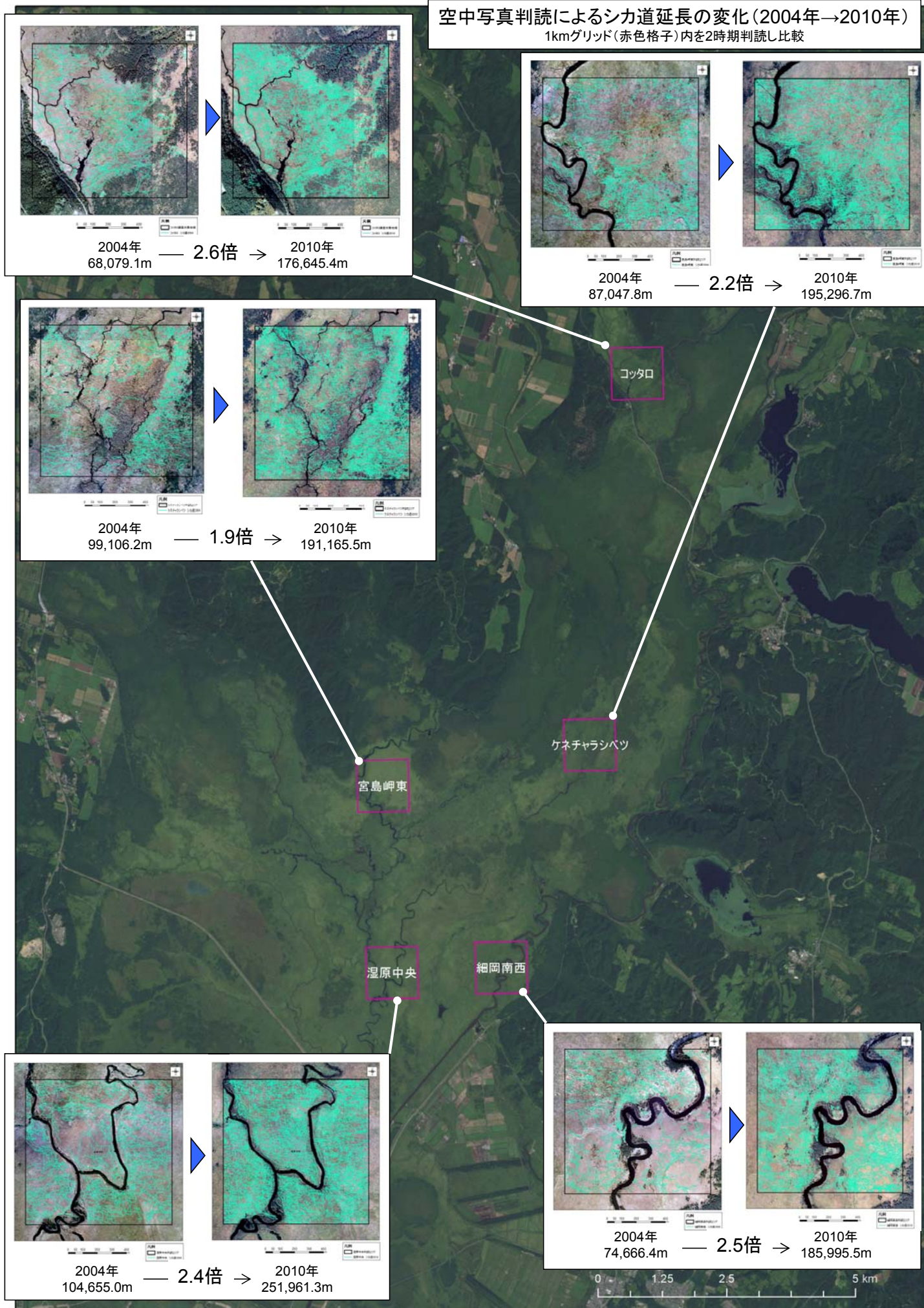


オオクマザサ



ホザキシモツケ

空中写真判読によるシカ道延長の変化(2004年→2010年)
1kmグリッド(赤色格子)内を2時期判読し比較



シカ道の延長は6年間で約2.3倍(5地区平均)に増加。

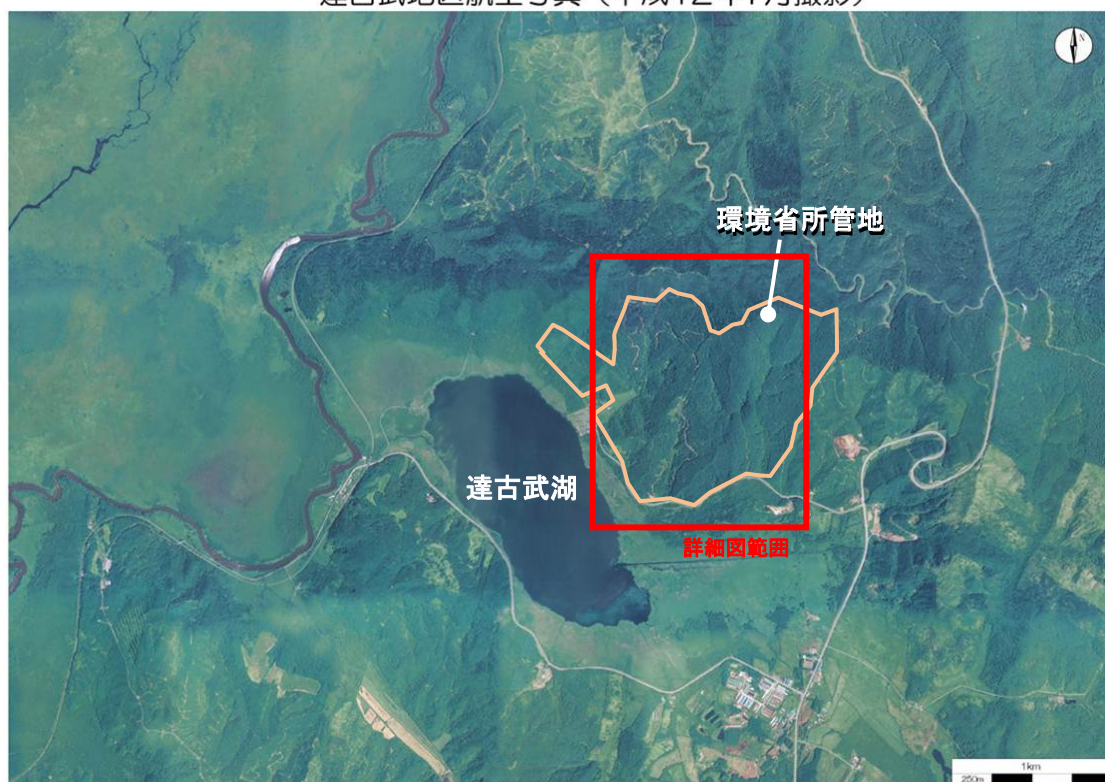
●平成 25 年度達古武地区エゾシカ試験捕獲 実施方針

○目的

- ・ 釧路湿原国立公園におけるエゾシカ個体数調整の可能性を検討する。
- ・ 捕獲個体の有効活用に関する体制構築を図る。
- ・ 捕獲適地検討調査により、最も適当な場所とされた達古武地域において、先行して試験捕獲を実施する。

○事業位置図

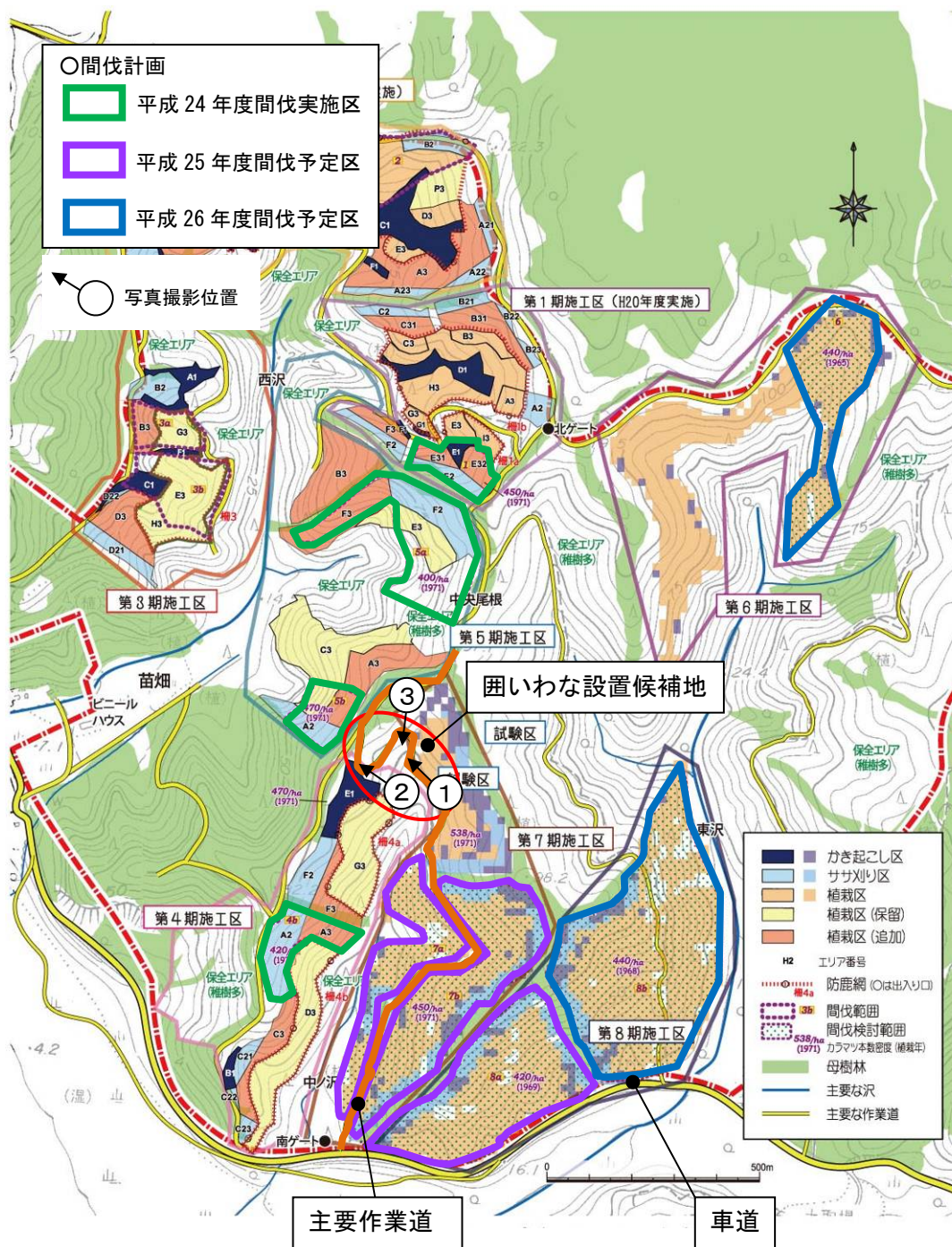
達古武地区航空写真（平成12年7月撮影）



○達古武地域の特徴

- ・ カラマツ人工林を環境省が取得し、自然再生事業を実施している森林。
- ・ 植生調査、エゾシカ食害調査、歩行性昆虫・ネズミ類調査等が実施されており、エゾシカによる影響が把握されている上、個体数調整の効果の評価が可能。
- ・ 平成 24～26 年度に一部で間伐が計画されている。
- ・ 平成 24 年度に間伐材の樹皮や枝条をエゾシカが採食する様子を確認。間伐材等に誘引されたエゾシカが周辺林分に集まっている可能性がある。
- ・ 国指定鳥獣保護区であり、一般狩猟との住み分けができる。
- ・ 作業道が整備されており、アクセスがよく、捕獲個体を生体搬出できる可能性がある。

○詳細図



○間伐実施方法

- ・間伐したカラマツは林内で枝払い・玉切りし、仮置き場に堆積。
- ・枝条は林内に集めて堆積。
- ・伐採（予定）本数 平成 24 年度：約 800 本
 平成 25 年度：約 1700 本
 平成 26 年度：約 1600 本

※間伐材や枝条の堆積方法による捕獲効率の向上も検討

○囲いわな設置候補地の状況



○事業内容

① 囲いわなによる試験捕獲

- ・ わな設置位置について
 - 効率的捕獲できるわな設置位置の検討（間伐材堆積地との関係）
 - 同じ場所で継続して捕獲ができるか？
- ・ わなの構造等について
 - 小型囲いわな（10m×20m 程度）を想定
 - 携帯電話通信によるインターネットカメラ利用
 - 遠隔操作による捕獲ゲートの開発

② 捕獲したエゾシカの有効活用

- 生体搬出・搬送の可能性
- 有効活用施設との連携構築

③ その他の捕獲手法検討

- ・ 囲いわなで捕獲できない個体群の有無と他の手法での捕獲可能性
- ・ 複数の手法を組み合わせることによって捕獲効率が上がるか？
 - シャープシューティング等の実施可能性・効率性の検討

参考：知床岩尾別地区小型囲いわな構造図

